

段々と暑さが和らぐ日も出てきましたが、まだまだ残暑が厳しい日もあります。引き続き、熱中症には気を抜かずに過ごしていきたいですね。また、この季節変わり目に体調を崩してしまう子が多くなってきます。アレルギーなども出やすい時期になりますので、何か変化があった際には、早目の病院受診をお願いします。

## 9月の感染者情報

- アデノウイルス…3人
- 肺炎…1人
- 胃腸炎…1人
- 中耳炎…2人
- 発熱…16人
- 下痢…3人
- 嘔吐…1人
- 風邪…19人
- 新型コロナウイルス…1人
- 腹痛…1人
- 目ヤニ…1人

☆☆10月24日(金)は

内科検診です!! ☆☆

14:00~浦田医院の先生が来られます。

※お休みの方は、後日用紙を持参の上病院まで検診を受けに行ってください。担任までお知らせ下さい。

## インフルエンザの 予防接種が始まりました

### 2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいので、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目の接種と2回目の接種の間は4週間あけるとよいと言われています。

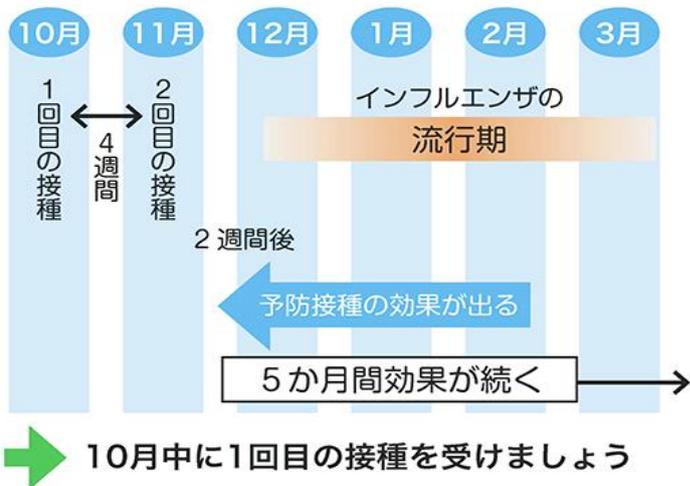
### 効果が十分に出るのは2回目接種から約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間かかります。

### 効果は約5か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5か月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

10月からインフルエンザワクチンの予防接種が始まります。予約方法や詳しい接種開始日などは、各かかりつけ医院にお問い合わせください。



## ☆☆マイコプラズマ感染症について☆☆

以前はオリンピックの年毎に流行すると言われていましたが、今年は特に感染している方が多くみられます。秋～冬に多いと言われていた感染症ですが、年間を通して感染する可能性があります。

- 感染期間…症状がでる2～8日前から感染力がある。発症後から1週間が最も感染力が強いとされている。
- 症状…発熱、頭痛、喉の痛み、痰が絡まない乾いた咳で、咳の回数が多い。
- 治療…抗菌薬の内服治療。

咳が長引く為心配になりますが、指示通りに内服治療を行うのが治る為の一番の近道です。医師の指示通りに内服をおこないましょう。また、診断された場合は、園へ電話にて報告をお願いします。医師の許可がでるまで登園停止となります。

※咳で眠れない時は、横になると咳が酷くなる場合は、体の下にクッションを入れる等して、上半身を少し高くしてあげましょう。部屋を加湿してあげるのも、喉を守る事が出来てオススメです。大人は熱が無ければ大丈夫だと思いがちですが、子ども達は咳でも予想以上に体力を奪われています。ゆっくりと過ごし、休息をとるようにしましょう。